

3つの専門性を連携し訪問リハビリ

「ひさまつクリニック」では、理学療法士5人、作業療法士2人、言語聴覚士2人の計9人体制で訪問リハビリテーションを行っています。3つの専門性を連携することで、より細やかなリハビリが可能になりました。

また、失語症やえんげ障害がある場合は言語聴覚士が連携。保たれている運動機能にアプローチして意思疎通の手段を広げるリハビリを行います。さらに、がん患者のリハビリやターミナルケアにも力を入れ、住み慣れた環境下での生活の質の向上を図っています。

脳卒中の片まひリハビリの一つ「促進（そくつう）反復療法」をはじめ、低周波刺激、振動刺激などの療法を用い、理学療法士や作業療法士が患者本人とマンツーマンで運動機能の改善に取り組んでいます。促進反復療法については、介護する家族も行えるように指導してくれま

片まひリハビリ療法などで介護する家族へのフォローも「促進反復療法」は、患者に声掛けして意識付けをしながら、1本の指につき50～100回の反復した刺激を与え、脳への刺激を伝えます。「川平法」ともいわれます。また、「がんリハビリ」では、家族が楽に援助できる方法を教えたり、経過に対する対処法、精神的フォローも行っています



▲脳への刺激を伝える運動療法で、機能改善訓練を行います



▲院長の久松さん（前列中央）と訪問リハのスタッフ

ひさまつクリニック 訪問リハビリテーション ☎099・298・1230

上之園町21-7 湖城ビル1階 電話受付9時～17時（土曜は～12時）
日曜・祝日休 P有

ひさまつクリニック

検索